

箴言結晶の学び#11:神のエコノミーの中で、主を畏れることの内在的な意義 4/12-18 **OL Summary**: **I.** 人が正常な人の生活をするための第一の原則は、主を畏れることと、主をあがめることです。主を畏れることは、主を怒らせることを恐れること、彼の臨在を失うことを恐れること、次の時代に褒賞を受けないことを恐れることです。私たちはこの時代に主の笑顔を失うことと、次の時代に彼の褒賞を失うことを恐れるべきです。**A.** 主を畏れることは、あらゆることで主を顧慮し尊重し、彼が私たちを創造されたすばらしい神であることを、決して忘れないことです。主を畏れることは、私たちが悪を行なうことをやめさせます。主を畏れることはまた、私たちが他の人たちの苦難によって触れられ、彼らにあわれみと深い同情を示すようにします。**B.** 主を畏れることは、罪から逃れることだけでなく、それにもまして、自己を拒絶することです。主を畏れることは、単に私たちが罪を犯したことや私たちがこの世的であることを恐れることだけでなく、私たちが行なっている事が主からではなく、自分自身からであることを恐れることです。**C.** 神を畏れることは知恵の初めであり、聖なる方を知ることは英知です。知識、知恵、英知は神から来ます。私たちが神を畏れ、神をあがめるなら、これらは私たちの財産となります。**II.** イザヤが予言したのは、エホバの霊(知恵の霊、聡明の霊、助言の霊、勢力の霊、エホバを知る知識の霊、エホバを畏れる霊)が、キリストの上にとどまるということです。**A.** その霊は絶えず主イエスと共にあり、彼と一でした。彼はその霊によって歩き、その霊の中で、その霊と共に、その霊によって、その霊を通して生活しました。イザヤ11:2が見せているのは、主の人の生活において、その霊は上で述べられているすべての属性をもって現されたということです。**III.** 神を畏れることは、神に信頼することです。**A.** 箴言3:5~8は私たちに、心を尽くして主に信頼し、自分の英知に頼ってはならないと命じています。私たちは自分のすべての道で彼を認めるべきです。そうすれば、彼は私たちの路を真っすぐにします。私たちは自分の目に賢い者となるべきではなく、主を畏れて、悪から離れるべきです。それは私たちの体にいやしとなり、私たちの骨に活力となります。**IV.** 主を畏れることは、私たちが主を尊ぶことをも意味します。**A.** 箴言3:9~10は、私たちが私たちの財産と、すべての産物の初物をもって、主を尊ばなければならぬと言います。そうすれば、私たちの倉は満ち満ち、私たちの酒ぶねは新しいぶどう酒で満ちあふれます。**B.** 私たちは、さらに金をもうけて将来のために宝を蓄える者であってはなりません。少なくとも私たちの産物の十分の一(初穂)は、神に与えられなければなりません。私たちは、神が私たちに与えてくださった物を与えるときは、常に、とても気前よくあるべきです。これが神を尊ぶことです。**C.** 私たちは主に、私たちの心を単一にして、主の御名を畏れさせてくださるよう懇願すべきです。「エホバよ、あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理の中を歩みます。私の心を単一にして、あなたの御名を畏れさせてください」(詩86:11)。**D.** 私たちは、「肉と霊のあらゆる汚れから自分を清め、神を畏れて、聖別を完成」(Ⅱコリント7:1)する必要があります。ここで神を畏れることは、神に属していないものや神と関係

のないものにあえて触れないことです。**V.** 主に対する聖なる畏れは、実は喜びの源であり、命の泉であり、命の木であって、神を私たちの中へと分与して、神のエコノミーを完成します。**A.** 主を畏れることは命の泉であり、人を死の罠から逃れさせます。主を畏れること、主に信頼すること、主の御名の中に避け所を得ることは、命の路を歩くことです。命の路は、命の木の路であり、その源は神ご自身です。**B.** 主を畏れることは命に導きます。命に導くのは、狭められた道です(少数の人の道であって、多くの人の道ではない)。命の路は、私たちが神の中に生き、こうして命に触れ、獲得するためです。これらの路は、私たちが彼の中へと入るために、神が私たちの心の中に置いた大路です。**C.** 死の道は、善悪知識の木の道であり、その源はサタンであって、それは私たちの自己において現されます。自己の中に生きることは、神の臨在を持たないことであり、暗やみの道に歩むことであり、命がないことです。**VI.** 神は私たち彼の民に一つの心と一つの道を与えて、絶えず彼を畏れさせることを約束しました。それは私たち自身と私たちの後の子たちの幸いのためでした。また神は私たちの心の中に彼に対する畏れを置いて、私たちが彼から離れ去らないようにします。**A.** 私たち神の選ばれた人は、みな一つの心を持って、神を愛し、神を追い求め、神を生き、神で構成されて、神の表現となるべきです。また私たちは一つの道、すなわち内なる命の法則とその神聖な能力としての三一の神ご自身を持つべきです。**B.** この一つの心と一つの道は、一つ思いです。キリスト以外のものに対する心を持ち、キリスト以外の道を取ることは、分裂へと導きます。**C.** 神は永遠の契約、すなわち新しい契約を結びました。この契約によって、神は私たちから離れず、私たちの心の中に彼に対する畏れを置き、私たちが神から離れ去らないようにします。**D.** 私たちは神を畏れるとき、私たちが選ぶべき道について神によって示されます。そして神の親密な助言と彼の契約を知ることができるようになります。神を畏れる者だけが、神の契約についての神の啓示を持つことができます。神は彼を畏れる者だけに彼の親密な助言を与えます。**VII.** 主を畏れることと主を愛することは、私たちの罪が赦されたことの二つのすばらしい結果です。**A.** 神の赦しは、人を大胆で身勝手にはさせません。神の赦しの恵みは、人を主に対する恐れの中へともたらします。「あなたには赦しがあるので、あなたは畏られます」(詩130:4)。**B.** 神の赦しの恵みはまた、私たちに神を愛させます。ルカによる福音書における罪深い女が主を多く愛した理由は、彼女が主によって多く赦されたからです。**C.** 主が私たちを赦せば赦すほど、私たちはますます主を畏れます。また私たちは主を畏れば畏れるほど、ますます主を愛します。消極面では、私たちは主を畏れるので、主の喜ばない事を行ないません。積極面では、私たちは主を愛するので、主の喜ぶ事を行ないません。**VIII.** 箴言第31章は、主を畏れる者の二つの模範を私たちに提示しています。一方で、私たちは主と同じような王(王族の男)のようになって、支配する権威を持つべきです。他方で、私たちは価値のある女となって、どのように神の家の中で案配し、管理し、顧み、聖徒たちの必要を供給するかを知っているべきです。

CP1: 実際の霊を日常生活に適用して、

神のエコノミーの中で、神を畏れる生活を実行する

OL1: イザヤが予言したのは、エホバの霊(知恵の霊、聡明の霊、助言の霊、勢力の霊、エホバを知る知識の霊、エホバを畏れる霊)が、キリストの上にとどまるといことです。**OL2:** イエスは彼の人の生活において、主をあがめ、従順に畏れる霊で満たされていました。彼はまた主を畏れることを喜びました。彼は復活において今や、すべてを含む、あふれるばかりに供給するイエス・キリストの霊であり、エホバを畏れる霊です。この霊は、描写することのできない主イエスの人の生活と務めを含んでいます。かつてイエスほど神を畏れた人はいません。神の新約エコノミーを遂行したときに主イエスは告げましたが、彼は決して自分から何もせず、自分のわざを行わず、自分の言葉を語らず、自分の意志によっては何も行わず、自分の栄光を求めませんでした。イエスは生活において神の中で、神と共に、神のためにあらゆる事を行ないました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした。これがイエスにあるあの実際です。**OL3:** 実際の霊としての主が私たちを、彼の服従の命と、御父に対する彼の従順の命を経験することの実際の中へと導いてくださるよう、私たちは求める必要があります。日ごとに私たちは完全に、絶対的に御父に開き、彼がすべてを含む霊としての復活のキリストをもって私たちを満たしてくださるよう求める必要があります。この霊は主を畏れる霊でもあり、主イエスの人の生活と務めを含んでいます。**OL4:** 箴言3:5~8は私たちに、心を尽くして主に信頼し、自分の英知に頼ってはならないと命じています。私たちは自分のすべての道で彼を認めるべきです。そうすれば、彼は私たちの路を真っすぐにします。私たちは自分の目に賢い者となるべきではなく、主を畏れて、悪から離れるべきです。それは私たちの体にいやしとなり、私たちの骨に活力となります。**OL5:** 「エホバに信頼し、その信頼がエホバである者は幸いである。彼は水のほとりに移植された木のようになり、その根を川のそばに伸ばし、暑さが来ても恐れぬ。その葉は茂ったままで、干ばつの年にも心配することなく、実を結ぶことをやめない」(エレミヤ17:7-8)。神のエコノミーによれば、神に信頼する者は、水のほとりに移植された木のようです。水が表徴するのは、生ける水の源泉としての神です。木は川のほとりで、水のすべての豊富を吸収することによって生長します。これは神の分与によって完成される神のエコノミーの絵です。木としての私たちは神聖な分与を受けるために、水としての神を吸収しなければなりません。供給する神の豊富は、木としての私たちの中へと分与され、神の神性をもって私たちを構成し、神の度量へと成長させます。このようにして、私たちと神は一となり、同じ要素、本質、構成、外観を持ちます。**OL6:** 言葉に注意する者は良きものを見だし、主に依り頼む者は幸いです。主が私たちの確信となり、私たちの足を畏から守ってください。**OL7:** 神を愛する者は、聖書の中で主に来ることによって、神を畏れることを学びます。私たちが命じられているのは、神の言に対して忠実に従い、また従順になって、私たちが神を畏れていることを証明することです。

適用: 新人及び青少年・大学生編

イエスは彼の人の生活で、神をあがめ、畏れる霊を持っていました。あなたは神を畏れる生活を送ることを決心して、イエスの生活を外側でまねようとしても、実行することができません。この模範である方は今、命を与える霊、実際の霊です。**ヨハネ16:13** **しかし彼、すなわち実際の霊が来る時、あなたがたをすべての実際へと導く。**あなたは、①自分の霊を活用し祈り、②主の御名を呼び求め、③思いを霊に付けて御言葉を読んで祈り、④あなたを導いている兄弟姉妹と心を開いて交わって下さい。そして、御言葉の中とからだの中の実際の霊に触れる時、あなたは自然に神を畏れるようになります。

神のエコノミーのビジョンは、あなたがキリストを享受して、神を畏れ、召会を建造することです。このビジョンをあなたの学校生活などに適用するべきです。例えば、あなたは学校で良い成績を取りました、あるいは良い仕事をして上司にほめられました。この時、内側に高ぶりの病原菌が増殖し始めて、「私は凄い!」とつぶやきそうになります。この状況で、「おお、私は凄い!(Oh, I am great!)」ではなく、「おお主イエスよ、私はただ罪に他なりません! (Oh Lord Jesus, I am nothing but sin!)」と祈ってください。そして、「おお主よ、おお主よ、おお主イエスよ」と呼び続けてください。そうすれば、実際の霊の中の十字架の効果が働き、高ぶりの病原菌は殺されます。更に、実際の霊は神をあがめ、畏れる霊の実際をあなたに与え、あなたの魂に浸透します。これが、実際の霊を日常生活に適用して、神を畏れることです。

ピリピ1:19 **というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが(パウロの牢獄の日常生活)私にとって救いとなることを知っているからです。** **20** **そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。...4:22** **聖徒たち一同、特にカイザルの家の人たちが、あなたがたによろしく。**

パウロがピリピ書を書いた時、彼の日常生活は牢獄生活でした。たとえあなたの環境が悪くなくてもパウロよりは良いでしょう。パウロは聖徒たちから離れていても、キリストのからだの生活を実行し、主の中で喜び、キリストと召会を愛し、キリストを大きく表現しました。そして、牢獄の中から福音をカイザルの家の人に伝え、何人かが救われました。パウロはあなたの模範です。あなたの学校の日常生活、会社の日常生活、家庭の日常生活で、召会生活の福音や牧養で、実際の霊を享受して、神を畏れ、人を愛し、キリストを他の人に分与して、召会を建造することができますように!

祈り: おお主イエスよ、エホバを畏れる霊で満たされた方は、今、命を与える霊となって、私の内側に住んでおられます。私は①自分の霊を活用して祈り、②主の御名を呼び求め、③思いを霊に付けて御言葉を祈り読み、④導いてくださる兄弟姉妹に心を開いて交わり、御言葉の中とからだの中の実際の霊に触れます。生活の中で実際の霊を享受し、神を畏れ、人を愛し、キリストを人に分与し、召会を建造することができますように!

CP2:私たちの収入の十分の一以上を捧げることによって、主を畏れ、主を尊ぶことを現す

OL1:箴言3:9~10は、私たちが私たちの財産と、すべての産物の初物をもって、主を尊ばなければならないと言います。そうすれば、私たちの倉は満ち満ち、私たちの酒ぶねは新しいぶどう酒で満ちあふれます。私たちは、さらに金をもうけて将来のために宝を蓄える者ではありません。少なくとも私たちの産物の十分の一(初穂)は、神に与えられなければならないと。私たちは、神が私たちに与えてくださった物を与えるときは、常に、とても気前よくあるべきです。これが神を尊ぶことです。

OL2:私たちは主に、私たちの心を単一にして、主の御名を畏れさせてくださるよう懇願すべきです、「エホバよ、あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理の中を歩みます。私の心を単一にして、あなたの御名を畏れさせてください」(詩86:11)。

OL3:キリストを畏れることは、かしらである彼を怒らせることを恐れることです。これは、私たちが互いに服従し合うことと関係があります。それから私たちは主を愛して、主の中で歓喜し、主を享受します。

OL4:私たちはみな神に対する適切な畏れを持つべきです。なぜなら、私たちキリストにある信者はみな、キリストの裁きの座の前に現れるからです。その時、キリストは再来して彼の信者たちを裁きます。それは彼らの永遠の救いに関してではなく、彼らの時代の褒賞に関してです。

OL5:主を畏れることは、命を長くする道です。神はご自身を畏れる者を愛し、救い、保護し、祝福し、供給します。

OL6:主に対する聖なる畏れは、実は喜びの源であり、命の泉であり、命の木であって、神を私たちの中へと分与して、神のエコノミーを完成します。主を畏れることは命の泉であり、人を死の畏から逃れさせます。主を畏れること、主に信頼すること、主の御名の中に避け所を得ることは、命の路を歩くことです。

OL7:主を畏れることは命に導きます。命に導くのは、狭められた道です。命の路は、私たちが神の中に生き、こうして命に触れ、獲得するためです。これらの路は、私たちが彼の中へと入るために、神が私たちの心の中に置いた大路です。

今日、主が私たちの人生の行程において私たちを裁いておられることに、私たちは感謝します。それは彼の究極的な裁きの前に、新しい機会と新しい開始を私たちに与えるためです。これは彼のあわれみです。そうでなければ、私たちはこの世と共に罪定めされるでしょう。この過程において、あらゆる裁きは思い起こさせるものであり、また救いです。それぞれの新しい開始と共に、神は私たちに新鮮な恵みを与えられます。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

箴言 3:9 あなたの財産とすべての初物を持って、エホバを尊べ。 **10** そうすれば、あなたの倉は満ち満ち、あなたの酒ぶねは新しいぶどう酒で満ちあふれる。

ビジネスパーソンは財物の少なくとも収入の10%を捧げて、神を尊ぶべきです。収入の増加に基づき、更に比率を上げることができます。**マラキ3:10** 十分の一全部を宝物倉に携えて来て、私の家に食物があるようにせよ。万軍のエホバは言われる。こうして、もし望むなら、これによって、私があなたがたに天の窓を開き、祝福をあなたがたに注ぎ出して、余地がなくなるまでになるかどうか、さあ私を試してみよ。

生命課程第2巻の「物質の富を捧げる」から抜粋:人が墮落したために、神との間に問題が生じ、また神をすべてとする地位を離れ去った時から、物質の富は、墮落した人類の生活の中で障害となってしまいました。人はこのような状態の中で、暗黒へと落ち込んでしまい、神ではなく物質の富だけを認め、神にではなく物質の富だけに頼るようになりました。さらに、物質の富に任せ、それを神とし、それを神に置き換わらせさせました。神の敵、悪魔サタンは、人のこのような墮落した状態を利用して、人の中に入り込んで人を欺き、富と利益のために富の神という偶像を礼拝させました。彼はこれらの偶像の背後にいて、神に対する人の礼拝と奉仕を奪ってしまいました。ですから、主イエスは私たちに、人は「**神とマモン(金銭)とに仕えることはできない(マタイ6:24)**」と言われました。

しかしながら、私たちは神のあわれみを受け、主の救いを得ました。その救いは、私たちをサタンの権威から救い出し、神に立ち返らせました。このように神の救いを受けた後、私たちは現実の生活の中で、ある事実と直面します。すなわち、サタンが過去私たちとすべての世の人を惑わすのに使った物質の富に、どう対応すべきでしょうか?

① I テモテ 6:17 この世で富んでいる人たちに命じなさい。すなわち、高ぶった思いを抱かず、不確かな富に望みを置かず、むしろ、私たちの享受のために、すべてのものを豊かに与えてくださる神に望みを置くように。

この言葉は、人を惑わすサタンの陰謀を暴露しており、私たちの生活におけるあらゆる物質の享受が、表面的には不確かな富から来ているように見えるのが、実際は神が与えてくださるものであることを見せています。それらは、神が豊かに与えてくださる私たちへの供給です。ですから、人を惑わす不確かな物質の富に望みを置かず、私たちにすべてを与え、享受を与えてくださる神ご自身に望みを置かなければなりません。

② II コリント 9:10 種まく者に種と、糧のためのパンを惜しみなく供給される方。聖書は物質の富をささげること、種をまくことと見なしています。この種は神によって供給され、また神から来るものです。これは、信者たちが神にささげる物質の富は、もともと神から来るのであり、神によって与えられていることを示しています。

今月のオリンピック選考会で、白血病から復帰した競泳の池江選手が選ばれました。コーチは彼女の集中力に驚いていました。彼女は以前、「**神は信実であって、あなたがたが耐えられないような試みに遭うことを許されません(I コリント10:13)**」を用いて、「克服できない試練はない」と考え、白血病の試練を乗り越えたいと証していました。ビジネスパーソンが神を尊ぼうとする時、試練や誘惑があると思いますが、主の中でそれらに打ち勝ってください。

祈り:おお主イエスよ、財物を捧げることは、主を尊ぶことです。少なくとも収入の十分の一を捧げるようにとマラキ書は言っています。財物を愛し、マモンに仕えるのではなく、神を愛し、神に仕えます。不確かな富に望みを置かず、私たちの享受のために、すべてのものを豊かに与えてくださる神ご自身に望みを置きます。財物を捧げて主を尊びます。アーメン!

**CP3: 主の支配の下で管理する王となり、
また主を愛し価値のある賢い女として仕える**

OL1:箴言31:3～9が語っているのは、支配する王、すなわちぶどう酒を飲まず、他の人たちの権利のために語り、公正を行なう人です(キリストと彼の勝利者を予表する)。このような人だけが王として支配することができます。私たちの主は完全に神の制限の下にありました。このゆえに、彼は神のために王として支配することができました。私たちは神によって制限され、こうして自分自身を対処することができるなら、神のために王として支配することができます。民を支配することにおいて、王はまず神の言葉によって教えられ、規制され、支配され、制御されなければなりません。原則は、召会の長老についても同じであるべきです。長老は召会を統治し管理するために、神の聖なる言葉で再構成されなければなりません。

OL2:箴言31:10～31は、価値のある女について描写しています。彼女は賢く、親切で、勤勉で、能力があり、また彼女の家を案配し、管理し、供給することができます。「彼女の価値はサンゴにはるかにまさる」(箴31:10)。勝利を得る面で、私たちは王のようであるべきです。主を愛する面で、私たちは価値のある女のようであるべきです。価値のある女の主要な特徴は、彼女が主を畏れているということです(うやうやしく主を礼拝し、主に従順であり、主に仕え、主に信頼し、主に対する畏れに満ちて主を敬う)。「好意は偽りであり、美しさはむなし。しかし、エホバを畏れる女こそ、ほめたたえられる」(箴31:30)。「彼女は生涯のすべての日々、夫に善を行ない、悪を行なわない」(箴31:12)。「彼女の夫はその地の長老たちの間で座していて、城門の内では知られている」(箴31:23)。そのような価値のある思慮深い女は、主からであり、彼女の夫の冠です。彼女の子供たちと夫は立ち上がって、彼女が幸いであると呼びます。彼女の夫はまた彼女を称賛し、彼女が他のすべての者にまさっていると言います。夫は自らの目で彼の妻の「神を畏れる純粋な生活態度」を見ることができるべきです。彼女の飾りは、髪を編んだり、金を身につけたり、衣をまとったりする外面的なものであるべきではなく、「柔和で穏やかな霊を朽ちない飾りとする、心の中の隠れた人です。これこそ、神の御前に極めて価値のあるものです」(Iペテロ3:4)。神を敬うことは、神に対する畏敬、すなわち神を崇拝し、あがめることです。老年の婦人は、振る舞い、すなわち態度において、うやうやしくあるべきです。「それは彼女たちが、若い婦人たちを訓練して、夫を愛し、子供を愛し、冷静な思いを持ち、純潔で、家事に励み、善良で、自分自身の夫に服従する者とならせ、神の言がそえられることのないようにするためです」(テス2:4-5)。

適用: 奉仕者編

召会の拡張と建造のために、神の言葉で再構成され、神の支配の下にいる責任者の兄弟たちが、神を代行して、召会の諸事を管理すべきです。そして、姉妹たちは価値のある女として、賢く、親切で、勤勉で、能力があり、家を案配し、管理し、供給することができます。

兄弟の会社と召会の証し: 日系の会社は、おもに男性を採用し、登用していましたので、外資系には優秀な女性がたくさん来ているはずだと考えました。私はよく人事部と話し合い、「このような背景から、外資系であ

る弊社では、男性より女性の方が優秀である可能性がある。戦略的に女性を登用しなければ、彼女たちの才能が埋もれてしまう。その結果、会社が競争力を失ってしまう」と話しました。人事部は、「変わった事を言う人」と感じていたようで、私の合理的な提案を理解していなかったと思います。しかし私は米国本社の助けの下、部署の9名の部長の内、7名は女性を登用しました。私はこの会社に来た頃、業界の標準よりかなり下の会社でしたが、3年間で開発力について業界の最高まで成長できたのは、米国本社のリーダーシップと日本法人の社長の下での私のマネジメント、そして彼女たちの活躍の故でした。

日本では、女性の活躍が一つの重要なテーマであると誰もが知っていますが、実際の場面で文化的観念に合わない発想を受け入れるのは難しいことです。このように大胆に女性を登用する人事は、米国本社の助けがなければ実現しなかったでしょう。

召会生活では、リー兄弟は上海の復興における増し加わりの90%は、姉妹たちからであったと証しておられます。私たちは日本ではクリスチャン人口が非常に少ないので、特に主を愛する姉妹たちを活用する必要があると考え、そうしてきました。結果、姉妹たちの活躍のゆえに、神戸にある召会は少し増し加わりを得ることができました(1993年4月:3名⇒2021年4月:約200名)。

神の定められた道は節々(賜物のある肢体たちが)機能することに加えて、すべての部分がキリストの度量に依って機能することが必要です。**姉妹たちが正しく機能するために、私たち責任者が注意してきたことは、「キリストを享受し、天然の命を否み、召会の導きに従い、からだの組み合わせの中で機能し、キリストを表現し、キリストを他の人に分与する」ことです。**

このようにして、偏見や個人的な感覚によらず、聖霊の主権を尊重し、姉妹たちのからだの中での機能を発展させてきました。奉仕のグループは関係性を築く必要がありますが、それは天然の関係性ではなく、キリストのからだの中での肢体間の関係性においてです。

また、パウロをバプテスマするために遣わされたアナニヤは、小さな肢体でした。聖霊はどの小さな肢体から語られるのか分からないので、いつもへりくだって、聖霊の声を聴く必要があります。去年9月に六甲アイランドに、召会が進出することを決めたくっかけは、小学5年生の姉妹がお母さんに、「召会はなぜ六甲アイランドに行かないの? 六甲アイランドには子供が一杯いるよ!」と言った言葉がきっかけです。また、召会、一人の新しい人には、日本人、中国人、韓国人、アフリカ人などの区別はありません。**私たちはすべての人が偏見や固定観念を十字架に付け、キリストのからだの中で、聖霊の主権を尊重し、かしらであるキリストの中へと成長し、キリストの度量を増し加え、その度量に依って機能することを願っています。祈り: 主よ、主を畏れる者として、一方で、私たちは主と同じような王のようになって、支配する権威を持つために、神の聖なる言葉で再構成される必要があります。他方で、私たちは価値のある女となって、神の家の中で案配し、管理し、顧み、聖徒たちの必要を供給することを学びます。文化的な観念の覆いが取り除かれ賢い、価値のある女として機能できますように。**